

令和3年度 第2回ACP作業部会議事録

日 時 令和3年 5月 13日(木)
午後2時～午後3時

場 所 安城市医師会館 2階 大会議室

事務局より連絡
資料の確認

部会長より挨拶

手引書は7月位を目安としておおよその形にしたい。事務局からサルビーポータルサイトにプロジェクトを立ち上げてもらった。マニュアルの構成は総論、各論、Q&Aとなる。前回よりACPマニュアルの各論を作成するため、グループに分かれて取り組んでいただいている。今後はグループ毎の活動となるので、この作業部会は個々の作業の確認やグループ以外の方に意見や質問をお聞きする場にしていきたい。本日配布した2つの資料を説明する。ACPの4ステップ→これはエーシーピースの資料。4つのステップを踏まえて意思を確認していく。各グループで作業をする際に活用していただきたい。

次にACPがいつ、どこで、誰がやるのかを分かりやすく表している資料なのでこれも活用して頂きたい。三角形の図を見ると誰が関わることになるのかが分かりやすく書いてある。全体の流れとしてこれをイメージしながら個別ケースにもあたってもらえると良い。

事務局より連絡

資料の確認：資料1 グループワーク用紙

資料2 ACP目次 目次案なのでグループメンバーが担当する各論のページ数を記載している。イメージしやすいかと思うので参考にして欲しい。

資料3-1 原稿イメージ 7月の作業部会までに3-1の状態まで作成。その原稿にて業者を決定し、推敲の上完成。

資料3-2 完成イメージ このような状況までまとめて頂きたく参考案として配布。

本日は先日決めた小項目についての文章や具体的なレイアウトを考えてその用紙に記載。各論に入らない個別ケースについては、各グループのQ&Aに掲載する。グループ毎にまとめ、代表の方に発表して頂く。質疑応答で活発な意見交換をして頂きたい。

議題

1. ACPマニュアル作成及び報告

1G：情報収集・共有

資料を基に各ページに何を入れるかを話し合った。情報収集、意思確認、支援のタイミング、記録まで順番をどうするか一部変更することとした。

情報の共有についてはフォーマットの記載項目もあり、4グループと共同して作成したい。

2G：意思決定支援

共同意思決定の定義を考えている。意思決定の手順や関わる医療・介護職種の役割(1グループとかぶっている)。代弁者についてを記載(4グループとかぶる)検討事項が他のグループとかぶっている場合はどうするか？

3G：どのように実現するか

相談窓口の記載。

価値観の対立している場合の介入方法（2Gとかぶる）

病院と地域との情報共有（1Gとかぶる）

救急搬送について（救急搬送しない体制を作る）。まだ決定事項が少ないため一部記載する方針。

家族ケア(亡くなる前から介入し、グリーフケアにもつなげる)

疾患別はまだ話し合っていないが病名別で挙げようということになっている。
認知症・心不全・ガン末期・神経難病・腎臓病等

4G：状況別・スキル教育

資料を基に検討（P.7 参照）

6つの場合を4ページ分にまとめる。

家族と本人の思いが違う時→重要な部分なので左上にレイアウトする

介護力が不足している場合

否認が強い場合

外国人の場合

経済的問題がある場合

身寄りがいない時

下線部分はQ&Aに記載する

スキル・教育についてはまだ話せていない

私のノートについては資料を参考に検討中

質疑応答

➤ 部会長にて概要欄は作成予定。

資料の「4つのステップ」を目次に反映できるといいなと考えている。

➤ 各職種が役割などグループ間でかぶった時のすり合わせはどうか。

サルビーに投稿して頂き、事務局ですり合わせをする

2. 事務局より

- 今後もグループ単位での活動となるため、作業部会では各グループの進捗報告や困り事などを相談する場にしたい。本日の内容を5月末までにサルビー見守りネットのプロジェクトに投稿して頂き、事務局で確認した後、次回の資料として準備したい。サルビーのポータルサイトも活用し、次回までにできるだけ作業を進めて頂きたい。
- エンドオブライフ・ケア研修会を今年度は Zoom 開催で行うことになった。ファシリテーターを6名選出するに当たり、ACP 作業部会のメンバーにも入って頂きたいのでご協力ください。エンドオブライフ・ケア研修会のプロジェクトを立ち上げるのでご確認頂きたい。

次回 第3回ACP作業部会 令和3年6月10日(木) 14時~15時 安城市医師会館